

報道資料提供（令和3年9月8日提供）	
担当課	福祉保健部健康局医務課
担当者	宮永・仲
電話	073-441-2085(直通) / 内線 2084

県立医科大学の令和2事業年度業務実績に関する評価結果について

和歌山県公立大学法人評価委員会（知事の附属機関、委員長 辻 省次）が行った、公立大学法人和歌山県立医科大学に係る「令和2事業年度の業務実績に関する評価結果」を地方独立行政法人法に基づき公表します。

1 全体評価

第3期中期計画（平成30年度～令和5年度）の達成に向け、全体的には概ね順調に進んでいる。

＜年度計画記載161項目の実施状況＞

- 13項目 … 「年度計画を上回って実施している」
- 143項目 … 「年度計画を十分に実施している」
- 5項目 … 「年度計画を十分には実施していない」

2 主な評価及び指摘

＜評価事項＞

- 教育 ○ 薬学部開学に向け、伏虎キャンパスの整備を完了するとともに、各種規定の整備やカリキュラム編成等開学準備を進めた。
- 研究 ○ 新卒者の看護師・保健師国家試験合格率100%を2年連続で達成した。
- 診療 ○ 3学部間の共同研究及び企業との共同研究により、創薬・臨床研究の充実を図ることを目的に「次世代医療研究センター」を設置した。
- 診療 ○ 附属病院本院において、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、病床稼働率（病床利用率）が低下したにも関わらず、入院診療単価が大幅に上昇し、入院診療稼働額が増加した。
- 診療 ○ 附属病院本院に、「臍がんドッグ」を開設し、検診による臍がんの早期発見治療を目指す体制を整えた。
- 地域貢献 ○ 汎用画像診断装置用プログラム「Join」を活用した遠隔救急支援システムは、実績値で前年度の約2倍となり、地域医療に貢献するツールとしての利用が進んだ。

＜指摘事項＞

- 教育 ● 医学部基礎系の大学院入学者について、依然として増加する傾向がみられない。
- 研究 ● 医学部基礎系の教室から発表された論文数が少ない。
- 研究 ● URA（研究企画支援組織）が研究者の検索、マッチングして、産官学連携に取り組んでいるが、結果として共同研究等に至っていない。
- 診療 ● 診療報酬未収金が減少していない。

【評価委員会 委員】（任期）令和2年4月1日～令和4年3月31日

氏名	役職等（◎委員長、敬称略）
◎ 辻 省次	国際医療福祉大学大学院・医学部教授 東京大学大学院医学系研究科分子神経学特任教授
川淵 孝一	東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授
坂本 すが	東京医療保健大学副学長 公益社団法人日本看護協会前会長
瀬戸 嗣郎	静岡県立こども病院名誉院長・参与 市立岸和田市民病院顧問
三木 義男	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授 東京医科歯科大学難治疾患研究所教授
森脇 宏	ひだか病院名誉院長

※森脇委員の任期は、令和3年4月1日～令和4年3月31日